

大阪府、大阪市では、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を世界に先駆けて推進するため、住民や企業、市町村など様々なステークホルダー[※]への関わりがあるとともに他の自治体等への波及が見込まれ、SDGs[※]の特性をわかりやすく体現できる取組みとして、経済、社会、環境の三側面から、3R + Renewable[※]などの普及啓発や、海岸漂着ごみの実態調査、海ごみの回収などを府域全体で幅広く実施します。

特に、三側面をつなぐ統合的取組みを、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業と銘打ち、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現等に貢献するために本計画を策定し、同計画に基づくプラスチックごみの資源循環を推進するとともに、海洋プラスチックごみ対策の国際協力に取り組みます。

本推進事業においては、SDGs[※]の特性である「経済」、「社会」、「環境」の三側面の統合による相乗的な効果を創出するため、市民や事業者などあらゆるステークホルダー[※]とのパートナーシップのもと地域のコミュニティとイノベーションの力を最大限に活かし、プラスチックごみの抑制と減量、付加価値化・有効利用化、実社会への環境配慮の仕組みの実装、命や暮らしの基盤である海や川の豊かさを次代に引き継ぐという観点で取組みを実施します。

『「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業』の構成

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現等に貢献するための計画を取りまとめ、推進体制の構築を図り、同計画に基づきプラスチックごみの資源循環を推進するとともに、大阪の取組みを国内外に発信する事業を実施。

① 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」 実行計画の取りまとめと推進体制 の構築

・実行計画の取りまとめ、推進体制の構築

・三側面の統合的マネジメント、
全体最適化



② 「地域・事業者の連携による 新たなペットボトル回収・リサイ クルシステム」の確立

・ペットボトルを「有価物」として
回収・運搬・再資源化

・売却益の地域還元、活性化
※環境省とのモデル事業で効果検証済



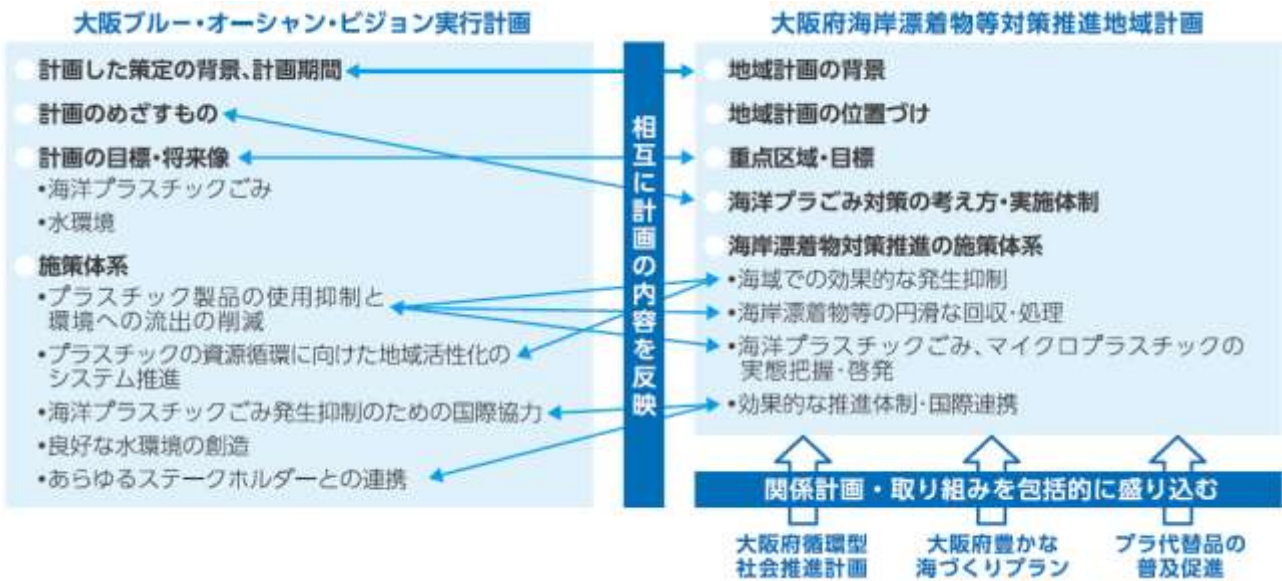
③ モデル事業をはじめとする SDGsの取組みに関する情報 発信と国際協力の推進

・自治体SDGsモデル事業の成果等
を国内外に情報発信

・好事例の他地域への広がり、
途上国の環境問題解決に貢献



また、本推進事業は、大阪府・大阪市が共同で自治体SDGsモデル事業[※]として実施するため、「海岸漂着物処理推進法」に基づき大阪府が策定した「大阪府海岸漂着物等対策推進地域計画[※]」と目標を共有化するとともに、相互に計画や施策の内容を反映しています。



第3節 計画期間

目標年度はSDGs[※]のゴールを踏まえ2030年度とします。なお、関連計画や大阪・関西万博の成果などを踏まえて2025年度を目途に見直しを行います。

2025年大阪・関西万博開催

いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives



2025年大阪・関西万博がめざすもの
 持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献
 日本の国家戦略 Society5.0 の実現



提供：2050年日本国際博覧会協会